

Market Watching

発表日: 2019年11月5日(火)

連続利下げ観測後退し、注目は非製造業へ(マーケットウィークリー) ～金融緩和依存からの脱却可能性を探るISM非製造業景気指数～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
10月28日(月)	—				
10月29日(火)	日本: 都区部消費者物価指数(10月)・総合	+0.4%	+0.6%	+0.4%	前年比
	・除生鮮食品	+0.5%	+0.6%	+0.5%	前年比
	米国: 消費者信頼感指数(10月)	125.9	127.9	125.1	ポイント
10月30日(水)	日本: 商業販売統計・小売業販売額(9月)	+9.1%	+6.1%	+1.8%	前年比
	米国: ADP雇用統計(10月)	+125	+132	+135	前月差、千人
	米国: 実質GDP速報値(7-9月期)	+1.9%	+1.5%	+2.0%	前期比年率
	カナダ: 金融政策委員会	1.75%	1.75%	1.75%	翌日物貸出金利
	米国: FOMC・上限金利	1.75%	1.75%	2.00%	FF金利
	・下限金利	1.50%	1.50%	1.75%	FF金利
	フランス: 金融政策委員会	5.00%	5.00%	5.50%	政策金利 (Selic)
10月31日(木)	日本: 鉱工業生産指数(9月)	+1.4%	+0.4%	▲1.2%	前月比
	日本: 住宅着工戸数(9月)	89.7	87.8	89.1	万戸
	日本: 日銀金融政策決定会合・政策金利	▲0.10%	—	▲0.10%	日銀当座預金残高金利
	・10年債利回り操作目標	0.00%	—	0.00%	10年物国債利回り
	中国: PMI製造業景気指数(10月)	49.3	49.8	49.8	ポイント
	ユーロ: 実質GDP速報値(7-9月期)	+0.2%	+0.1%	+0.2%	前期比
	ユーロ: 消費者物価指数速報値(10月)・総合	+0.7%	+0.7%	+0.9%	前年比
	・コア	+1.1%	+1.0%	+1.0%	前年比
	米国: 個人所得支出統計(9月)・実質個人消費	+0.2%	+0.2%	+0.1%	前月比
	・PCEコアフレタ	+1.3%	+1.4%	+1.4%	前年比
11月1日(金)	日本: 労働力調査・失業率(9月)	2.4%	2.2%	2.2%	
	日本: 一般職業紹介状況・有効求人倍率(9月)	1.57倍	1.59倍	1.59倍	
	日本: 新車販売台数(10月)・乗用車	▲27.5%	—	+13.3%	前年比
	中国: 財新PMI製造業景気指数(10月)	51.7	50.9	51.4	ポイント
	米国: 雇用統計(10月)・非農業就業者数	+128	+93	+136	前月差、千人
	・失業率	3.6%	3.6%	3.5%	
	・時間あたり賃金	+3.0%	+3.0%	+2.9%	前年比
	米国: ISM製造業景気指数(10月)	48.3	49.0	47.8	ポイント
	米国: 自動車販売台数(10月)	1,655	1,700	1,720	万台
11月2日(土)	—				
11月3日(日)	—				



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	1.710	▲8.4	+0.6	▲129.3	1.553	1.615	1.990
日本	-0.185	▲3.5	▲2.5	▲30.5	-0.172	-0.202	-0.119
ドイツ	-0.382	▲2.0	+18.2	▲78.1	-0.449	-0.526	-0.233
豪州	1.097	+3.9	+12.4	▲154.9	1.034	1.035	1.487
株価							
NYダウ	27347.36	+1.4	+2.9	+7.7	26769	26632	26254
日経平均	22850.77	+0.2	+4.4	+5.4	22204	21526	21448
ユーロSTOXX50	3623.74	▲0.0	+3.0	+13.1	3555	3480	3414
上海総合	2958.20	+0.1	+1.8	+13.5	2943	2924	2944
為替相場							
ドル/円	108.18	▲0.4	+0.4	▲4.0	108.16	107.43	109.04
ユーロ/円	120.80	+0.3	+2.5	▲6.1	119.58	118.98	122.11
豪ドル/円	74.78	+0.9	+3.5	▲7.9	73.55	73.15	75.86
ユーロ/ドル	1.1166	+0.8	+2.1	▲2.1	1.106	1.107	1.120
商品市況							
WTI	56.20	▲0.8	+4.8	▲11.8	54.10	55.39	57.28
金	1511.4	+0.8	+2.0	+22.0	1493	1493	1386

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (10/28~11/1) の金融市場は、一部で利下げ見送りの見方も出ていたFOMCで、市場コンセンサス通り 25bp の利下げが決定されたことに加え、利上げに転じる場合のハードルを高め設定したと受け取られたこともあり、市場の安心感が広がった。声明文では連続的な利下げに繋がる文言を削除し、次回会合では金利は据え置かれる可能性が高まったものの、週末に発表された雇用統計がしっかりした内容であったことから、市場の悲観的な見方が台頭することはなかった。

今週のマーケットは、月末月初の主要月次指標の発表は一服し、材料に欠ける一週間となる。とはいえ、企業業績の発表は続き、特に発表の多い日本の株式市場では個別中心の展開が見込まれる。経済指標では、米国のISM非製造業景気指数の注目度が増してきている。製造業部門の減速傾向が続く米国経済を支えているのは好調さを保つ個人消費であり、その動向は同統計に表れる。昨年9月にピークをつけたあとは、一進一退を繰り返しながら緩やかな低下基調を辿っているが、9月時点では52.6ポイントとまだ判断基準の分かれ目となる50ポイントを上回る水準にある。10月分の市場予想はコンセンサスで53.9ポイントとやや大きな改善を見込むなどハードルは高いが、市場予想を下回る結果となったとしても、底堅さが確認されれば市場の不安を煽ることはないだろう。なお、ECBの新しい総裁に着任したラガルド新総裁が講演を行う。当面は様子見姿勢を保ち、追加緩和で意見が分かれたドイツなど中核国との見解のすりあわせなどに尽力するとみられているが、金融政策に関する基本的な姿勢などをはかる良い機会となるだろう。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
11月4日(月)	—				
11月5日(火)	豪州：金融政策委員会 マレーシア：金融政策委員会 米国：貿易収支（9月） 米国：ISM非製造業景気指数（10月）	★ ★ ★★★	0.75% 3.00% ▲540 53.9	0.75% 3.00% ▲549 52.6	RBA政策金利誘導目標 翌日物政策金利 億ドル ポイント
11月6日(水)	タイ：金融政策委員会 ユーロ：小売売上高（9月）	★ 	1.25% +0.1%	1.50% +0.3%	翌日物レボ金利 前月比
11月7日(木)	英国：金融政策決定会合	★	0.75%	0.75%	翌日物貸出金利
11月8日(金)	日本：毎月勤労統計（9月）・現金給与総額 日本：家計調査（9月）・全世帯実質消費支出 中国：貿易統計（10月）・輸出 ・輸入 米国：シカゴ大学消費者信頼感指数（11月速報値）	 ★ ★ ★ ★	 ▲0.2% +7.7% ▲3.8% ▲7.6% 95.0	 ▲0.1% +1.0% ▲3.2% ▲8.5% 95.5	前年比 前年比 前年比 前年比 ポイント
11月9日(土)	中国：消費者物価指数（10月）		+3.2%	+3.0%	前年比
11月10日(日)	—				

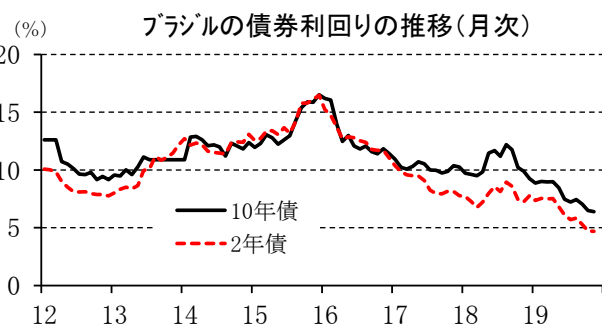
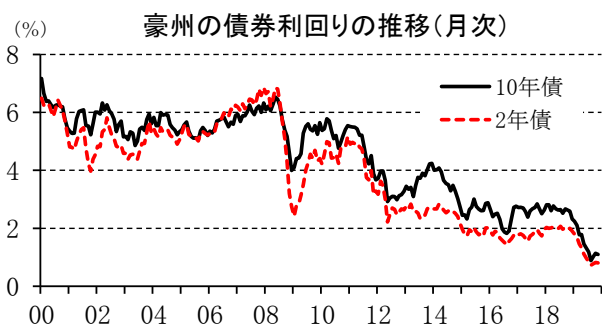
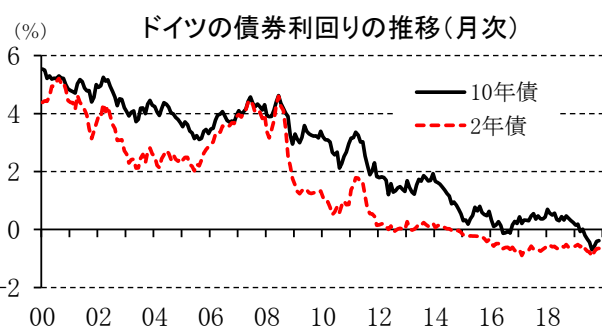
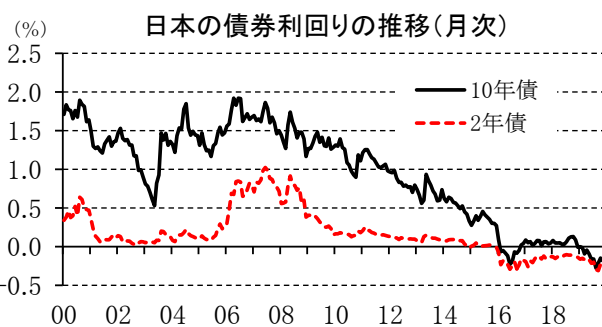
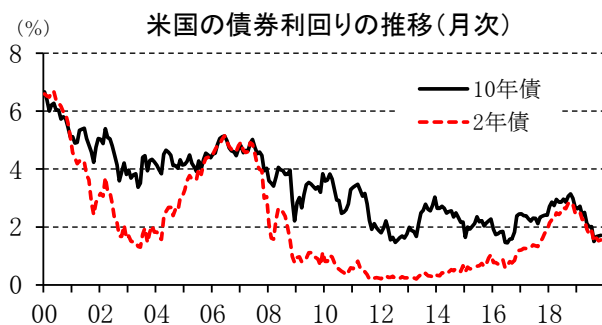
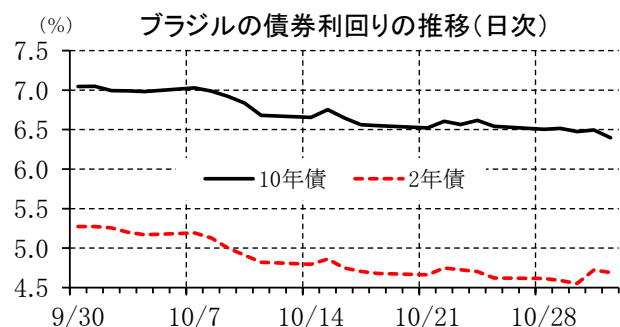
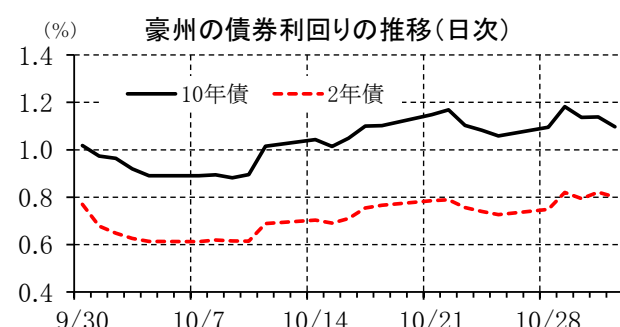
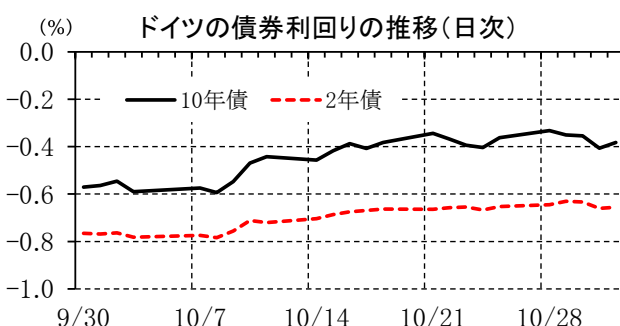
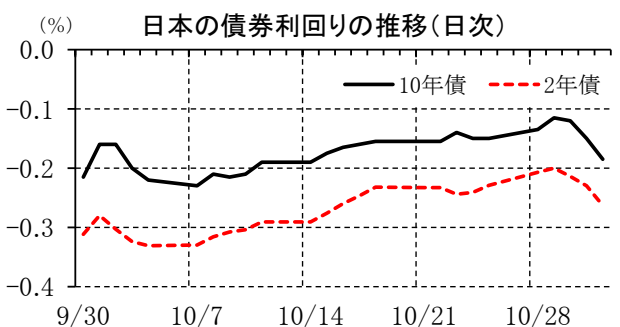
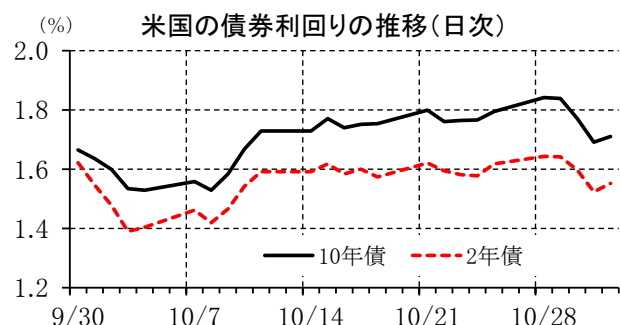
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

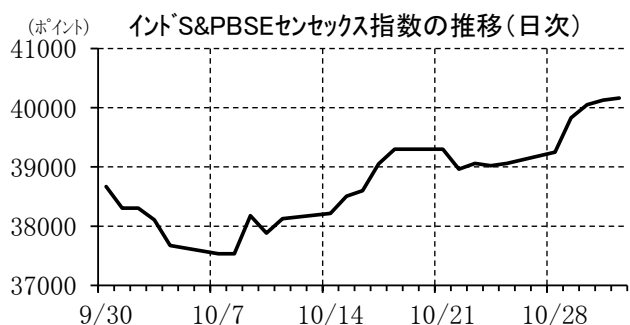
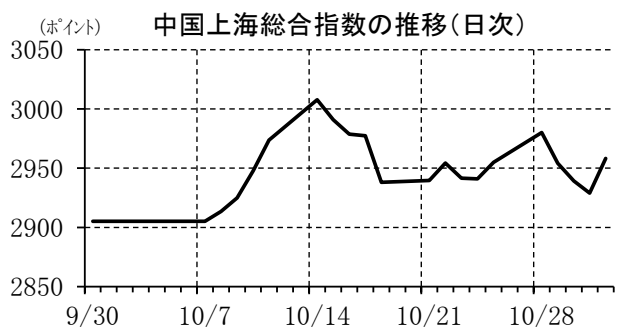
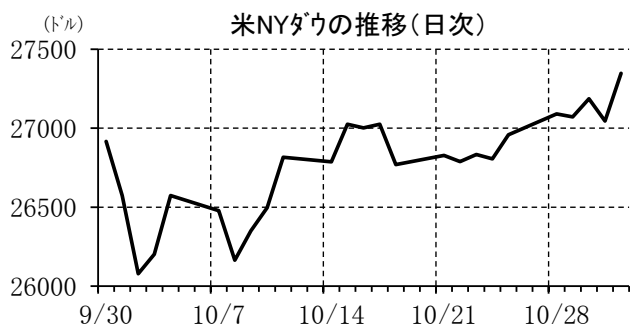
発表日	イベント	注目度	備考
11月4日(月)	英国：下院議長選出 ユーロ：ラガルト`ECB総裁講演	 ★★★	
11月5日(火)	—		
11月6日(水)	日本：金融政策決定会合議事要旨（9月分） 英国：議会解散 米国：NY連銀総裁講演	 ★	
11月7日(木)	ユーロ：ECB月報 EU：欧州委員会経済見通し 英国：BOE物価レポート 英国：カーニ-BOE総裁記者会見	★ ★ ★★	
11月8日(金)	—		
11月9日(土)	—		
11月10日(日)	スペイン：総選挙	★★	

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

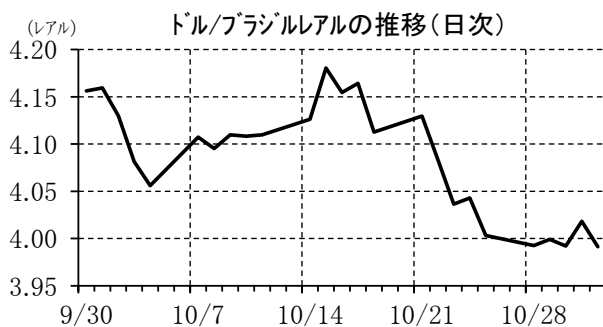
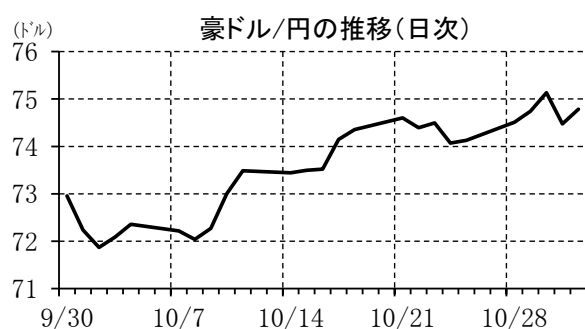
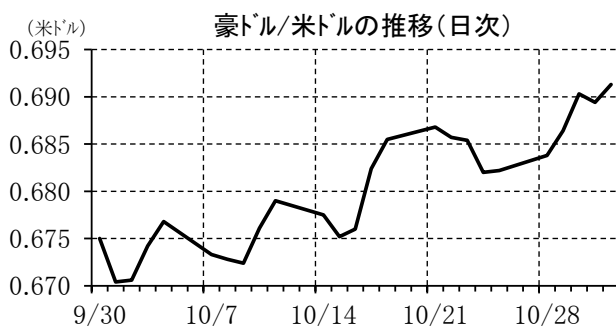
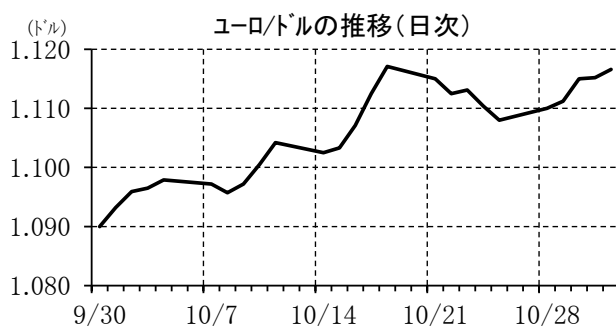
【債券利回り】



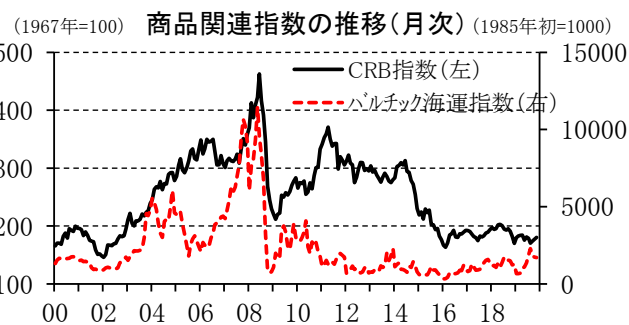
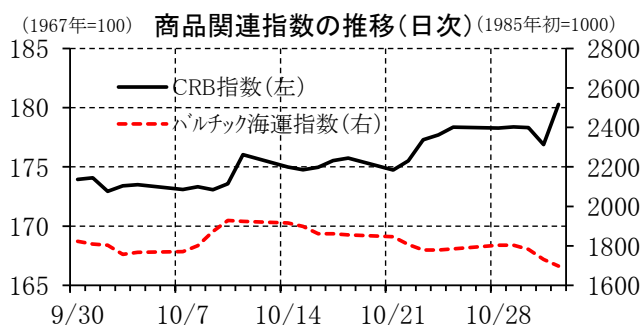
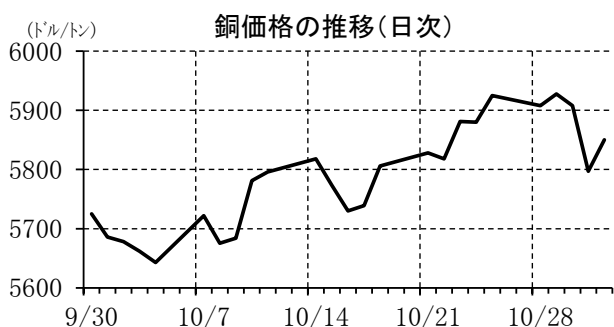
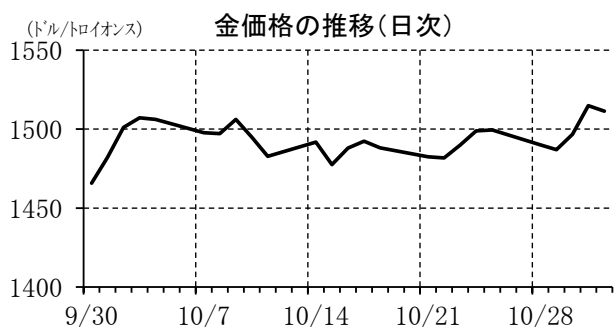
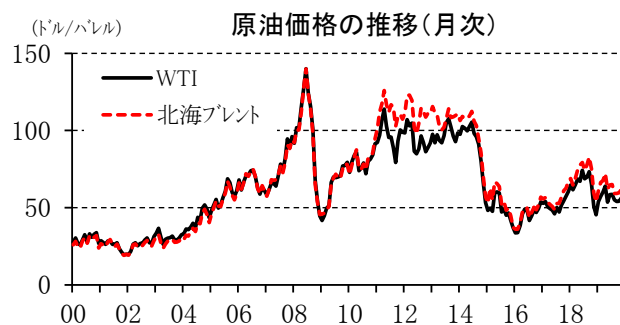
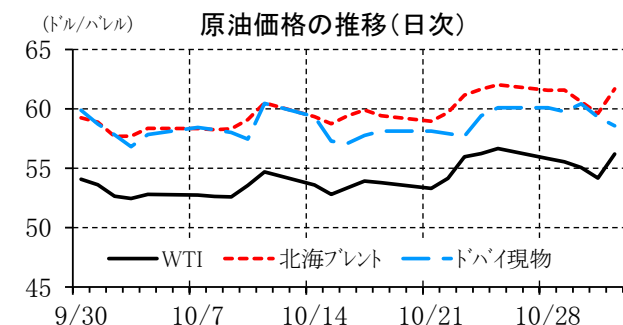
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

